

# みき通信

日本共産党 町議会議員  
くぼたみき 活動報告

第67号 2017年2月28日

発行 がんばれ くぼたみきの会

連絡先 875-7126 (阿部)



## 世界から孤立する **危険な米国第一主義**

中東、アフリカ7ヶ国からの入国禁止大統領令により、米国や世界中の空港で入国拒否や拘束される事態が生じ、世界中からトランプ氏批難の声が上がっている中で、2月10日に行われたトランプ米国大統領と安倍首相の初の会談は異常な親密ぶりを示しました。

安倍首相はこの問題を内政問題として「コメントは差し控えたい」と言いましたが、トランプ氏の排外主義に免罪符を与えたも同然です。

その共同声明が示した核使用を含めた「日米防衛」への米国の関与や、米国の戦争への日本の参戦体制づくり、沖縄辺野古新基地建設など「揺らぐことのない日米同盟」はとても喜べるものではありません。安倍首相は昨年末の国連総会で採択された、核兵器禁止条約締結交渉開始の決議に反対しましたが「核抑止力」に固執し、核兵器のない世界への大きな流れに逆行するこのような同盟強化は有害です。

首脳会談を控える中で、沖縄では辺野古新基地建設で、コンクリートブロックを海底に投下するなどの工事を強行しました。また「廃棄」としていた南スーダンでの陸上自衛隊の日報が、実は保管されていたこと。その日報に「激しい戦闘」などの報告がありながら「発砲事案」「衝突」とごまかして自衛隊派兵を続けるなど、どこまでも米国に従うという日米同盟第一「米国第一」の安倍外交で、どうして日本の国民の命と暮らしを守れるのでしょうか？

さらに今国会では、テロ対策を口実に、過去3度も廃案になった共謀罪が「テロ等準備罪」と名を変えて提案されようとしています。共謀罪は戦争に批判的な市民を弾圧した戦前の治安維持法の現代版ともいわれ、正当な市民運動を抑圧しかねない大変危険な内容です。

良好な日米関係と楽観せず、世界でも異常な安倍政権の暴走に厳しい目が必要です！

## 平成29年度、どんなまちづくりを目指すのか

町議会議員 くぼた みき

2月14日より本会議が始まり、平成29年度予算案が出されました。

町長施政方針の中で「”町民が休日を葉山で楽しめるようなまちづくり””町外の方に『いつかは葉山へ』と思ってもらえるまちづくり”に全力を挙げて取り組む」と述べています。横須賀市長は、人口減少対策に「必ずや市の社会減をゼロにする」ことに全力を挙げる考えを。逗子市は「人口減少と少子高齢化を克服するための逗子モデル強化予算」と銘を打った予算組を。超緊縮財政と言われる三浦市は、中学一年生まで小児医療費補助制度を拡充し、子育て支援策に力を入れ住民誘致を考えた予算だです。首長の意気込みは、そこに暮らす人たちの生活に直結します。近隣自治体が住民誘致に全力を傾ける中、「いつかは葉山へ」と悠長な町政運営で良いのか不安がのこります。予算委員会の中で細部にわたり審査していきます。

ふるさと納税は葉山への納税寄付額より流出寄付額が1千万円上回り赤字補てん状況です。予算案総括質問では「返礼競争に乗るのではなく、町民の方へ現状を伝えるべきでは」と質問し「一つの方法」と答弁がありました。

また、介護保険事業で、要支援1・2の方へのサービスが「一般介護予防事業と介護予防・生活支援サービス事業」に変更されています。「一般介護予防事業」は介護認定を受けていない方も対象です。制度変更により多くの不安があり質問を重ねていますが、現在は、新たに要支援1・2に認定される方も「現行のサービスが受けられる」という答弁を受けました。

町外の方へ葉山の魅力を発信するのも大切ですが、今葉山に暮らす方の声を聞き、生かしていくことが重要です。

## 29年夏、地域密着型特養ホーム開所へ

1月号でお知らせした「地域密着サービス型 特別養護老人ホーム」ですが、忘れてしまっていた入札がなんとか終わり、夏には開所できる予定と町側より報告がありました。予算特別委員会で特養待機者は、現在119人となっています。